



**STANDARD
TOKYO**

2022年4月14日

各 位

会社名 株式会社テイツー
代表者名 代表取締役社長 藤原 克治
(コード番号:7610 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理部長 青野 友弘
電話番号 048-933-3070

剰余金の配当並びに通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2022年4月14日の取締役会において、2022年2月28日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、2023年2月期の通期連結業績予想及び配当予想と併せて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年10月1日公表)	前期実績 (2021年2月期)
基準日	2022年2月28日	同左	2021年2月28日
1株当たり配当金	1円	同左	0円
配当金総額	68百万円	—	—
効力発生日	2022年5月12日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(2) 配当の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、企業価値の向上に努めております。また、当社では、剰余金の配当等を取締役会の決議をもって定めることができる旨を定款で定めており、利益配分にあたっては、将来の事業展開に備えた内部留保の充実を勘案し、業績に応じた配当を安定的に実施することを基本方針としております。ただし、特別な損益等の特殊要因により当期純利益が大きく変更する営業年度につきましては、その影響を考慮した配当を実施いたします。なお、内部留保金につきましては、業務の一層の効率化を図るためのシステム開発や、人材育成といった社内体制の充実等、経営基盤の確立に充当する予定であります。

上記基本方針を踏まえ、2022年2月期の業績、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後の企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、2022年2月期期末配当として1株当たり1円の期末配当を実施することを決定いたしました。

2. 2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）通期連結業績予想

(1) 通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
今回発表予想	26,400	1,100	1,100	700	円 銭 10.41
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	26,848	1,303	1,316	1,499	22.29

(2) 通期連結業績予想の理由

リユース店舗領域における一部取扱商材の市場縮小見込を保守的に織り込んだことと、リユース EC 領域の将来のトップライン向上を狙うグループ EC サイト「ふるいちオンライン」のリリース後の立ち上げ期間中の費用負担を織り込んだこと、及びリユース BtoB 領域での利益貢献を加味した結果、前期実績に対して減収減益の予想としました。

ただし、減収減益といえども将来の成長性を加味した予想であり、将来大きく利益貢献させる「ふるいちオンライン」のリリースやトレーディングカード読取査定機の TAYS（テイズ）の拡販など、翌期以降に利益貢献が見込まれる投資や事業活動を織り込んでおり、別途公表しました「『2022年度テイツグループ成長戦略』策定及び長期の定量目標の設定に関するお知らせ」での5年後の長期定量目標達成に向けた準備のための年度と捉えており、それら意図を織り込んだ通期連結業績予想です。

3. 2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）配当予想

(1) 配当予想

	年間配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
今回発表予想	—	0.00	—	1.00	1.00
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	—	0.00	—	1.00	1.00

(2) 配当予想の理由

2023年2月期の配当金に関しましては、当期の通期連結業績予想、今後の企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保等を勘案し、1株当たり1.00円の期末配当を予定しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上